



同軸避雷器 防雨型

(雷サージ・プロテクター)

N形接栓付 (NJ/NJ)

CA-09RW / CA-23RW

取扱説明書

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、必要なときに読めるようこの取扱説明書は大切に保管してください。

▲警告

- ①雷がなり出したら、本器やケーブルには触れないでください。感電の原因になります。
- ②アンテナに落雷することがあります。お使いにならないときや、外出時には無線機からケーブルをはずし、軒下などの人に触れない屋外に出しておいてください。火災・感電の原因になります。
- ③不安定な場所、高所など足場の悪い場所に設置工事をしないでください。落ちたり、すべったりして、けがの原因となります。
- ④本器の部品や工具類を高い所から落とさないでください。けがの原因となります。
- ⑤設置や点検は、風雨、雷、雪などの天候の悪い日は、危険ですので作業をしないでください。落ちたり、滑ったりして、けがの原因となります。
- ⑥ガス管や水道管などにアースしないでください。火災や感電・けがの原因となります。

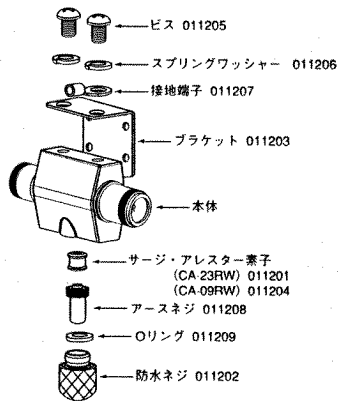
▲注意

- ①電力保安用アースなどと共用しないでください。また、他のアース回路とはなるべく隔離する様にしてください。故障の原因になります。
- ②本器は、誘導雷や静電気などのサージ電圧に対しては非常に効果的ですが、直雷による数万アンペアの大電流に対しては効果ありません。直雷対策に対しては避雷針を設置してください。

■ 特長

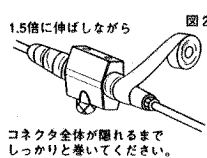
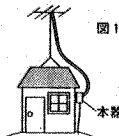
- ①本器には、一定電圧以上のサージ電圧が生じると、放電して接地するガス封入式のサージ・アレスタ素子を内蔵していますので、極めて安全性に優れています。
- ②サージ・アレスタは、一定電圧で放電、復帰を何回でも繰り返し動作しますので、交換の必要はほとんどありません。万一、このサージ・アレスタ素子が破損した場合は、容易に交換することができて経済的です。
- ③本器は同軸管構造ですので、高周波特性が良く、広帯域、低損失、低V、SWRです。
- ④この同軸避雷器は防雨設計です。そのため本体への防水処理の必要がありません。

■ 外観図 (パーツ名称)



■ 設置方法

- ①本器は同軸ケーブルを屋内に引き込む直前や、接地し易い場所に取り付けてください。(図1)
 - ②接地端子に2.5φ~3.2φの鋼線をかしめ、または半田づけし、鋼線の先端を大地に埋設した避雷用アースに接続してください。このとき本器と大地との接続距離はできるだけ短くしてください。
 - ③本器に接続するコネクタの部分をテーピングしてください。自己融着テープを元の長さの約1.5倍に引き伸ばしながら巻き付けます。さらにその上にビニールテープでしっかりと固定してください。(図2)
- なお、屋内でご使用になる場合にはテーピングの必要はありません。



☆ 避雷用のアースは次

- の点に留意し、確実に行ってください。なお詳細はアースに関する専門書を参照いただくか、専門の工事業者にご相談ください。また弊社ホームページ (<http://www.diamond-ant.co.jp>)にもアースに関する情報が掲載されておりますのでご利用ください。
- ・接地抵抗値はできるだけ小さくしてください。
 - ・銅板を大地に埋設するなどし、接地電極の表面積を広くして土壌との接触面積を大きくしてください。
 - ・地上高の高いアンテナ・タワーなどをご使用の場合は、アンテナ・タワーやルーフタワーなどの基部をできるだけ太い線 (断面積30mm²以上の鋼線または50mm²以上のアルミ線) で接地すると共にタワー上のアンテナ直下に同軸避雷器を取り付け、避雷器のアースをタワーを通して接地するようにすると効果的な避雷対策となります。

■ 点検

サージ・アレスタ素子の点検および交換は、防水ネジ、アースネジの順に取り外し、アレスタ本体を傾けて取り出してください。また、取り付けは、指先で締めつけてください。特にアースネジは工具で締めないでください。サージ・アレスタ素子が破損する恐れがあります。

■ 仕様

形名	CA-09RW	CA-23RW
周波数範囲	DC~2500MHz	
インピーダンス	50Ω	
VSWR	1.1以下	
ロス	0.2dB以下	
耐電力	30W PEP	200W PEP
直流放電開始電圧	90V±20%	230V±15%
500V/S 平均範囲内		
衝撃放電開始電圧	1,000V	
5kV/μS 上限値		
最大衝撃放電電流	5,000A	
8/20μS ピーク値		
反復放電寿命耐量10/1000μS	500回以上	
500A印加における平均寿命		
絶縁抵抗	10,000MΩ以上	
コネクタ	NJ/NJ	
外形寸法 (コネクタも含む最大寸法)	78W×55H×26Dmm	
重量	約150g	

本器の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

DIAMOND
ANTENNA

同軸避雷器 防雨型

(雷サージ・プロテクター)

N形接栓付(NJ/NJ)

CA-09RW / CA-23RW

取扱説明書

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、必要ときに読めるようこの取扱説明書は大切に保管してください。

▲警告

- ①雷がなり出したら、本器やケーブルには触れないでください。感電の原因になります。
- ②アンテナに落雷することがあります。お使いにならないときや、外出時には無線機からケーブルをはずし、軒下などの人に触れない屋外に出しておいてください。火災・感電の原因になります。
- ③不安定な場所、高所など足場の悪い場所に設置工事をしないでください。落ちたり、すべったりして、けがの原因となります。
- ④本器の部品や工具類を高い所から落とさないでください。けがの原因となります。
- ⑤設置や点検は、風雨、雷、雪などの天候の悪い日は、危険ですので作業をしないでください。落ちたり、滑ったりして、けがの原因となります。
- ⑥ガス管や水道管などにアースしないでください。火災や感電・けがの原因になります。

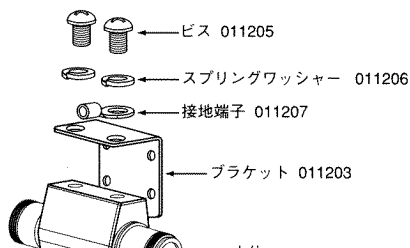
▲注意

- ①電力保安用アースなどと共用しないでください。また、他のアース回路とはなるべく隔離する様にしてください。故障の原因になります。
- ②本器は、誘導雷や静電気などのサージ電圧に対しては非常に効果的ですが、直雷による数万アンペアの大電流に対しては効果ありません。直雷対策に対しては避雷針を設置してください。

■特長

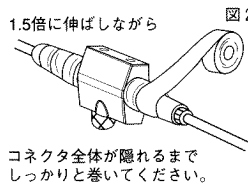
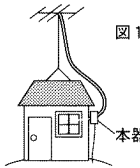
- ①本器には、一定電圧以上のサージ電圧が生じると、放電して接地するガス封入式のサージ・アレスタ素子を内蔵していますので、極めて安全性に優れています。
- ②サージ・アレスタは、一定電圧で放電、復帰を何回でも繰り返し動作しますので、交換の必要はほとんどありません。万一、このサージ・アレスタ素子が破損した場合は、容易に交換することができて経済的です。
- ③本器は同軸管構造ですので、高周波特性が良く、広帯域、低損失、低V_s、SWRです。
- ④この同軸避雷器は防雨設計です。そのため本体への防水処理の必要がありません。

■外観図(パーツ名称)



■設置方法

- ①本器は同軸ケーブルを屋内に引き込む直前や、接地し易い場所に取り付けてください。(図1)
- ②接地端子に2.5φ~3.2φの銅線をかきしめ、または半田づけし、銅線の先端を大地に埋設した避雷用アースに接続してください。このとき本器と大地との接続距離はできるだけ短くしてください。
- ③本器に接続するコネクタの部分をテーピングしてください。自己融着テープを元の長さの約1.5倍に引き伸ばしながら巻き付けます。さらにその上にビニールテープでしっかりと固定してください。(図2)



☆避雷用のアースは次

の点に留意し、確実に行ってください。なお詳細はアースに関する専門書を参照いただくか、専門の工事業者にご相談ください。また弊社ホームページ(<http://www.diamond-ant.co.jp>)にもアースに関する情報が掲載されておりましてご利用ください。

- ・接地抵抗値はできるだけ小さくしてください。
- ・銅板を大地に埋設するなどし、接地電極の表面積を広くして土壌との接触面積を大きくしてください。
- ・地上高の高いアンテナ・タワーなどをご使用の場合は、アンテナ・タワーやルーフタワーなどの基部をできるだけ太い線(断面積30mm²以上の銅線または50mm²以上のアルミ線)で接地すると共にタワー上のアンテナ直下に同軸避雷器を取り付け、避雷器のアースをタワーを通して接地すると効果的な避雷対策となります。

■点検

サージ・アレスタ素子の点検および交換は、防水ネジ、アースネジの順に取り外し、アレスタ本体を傾けて取り出してください。また、取り付けは、指先で締めつけてください。特にアースネジは工具で締めないでください。サージ・アレスタ素子が破損する恐れがあります。

■仕様

形名	CA-09RW	CA-23RW
周波数範囲	DC~2500MHz	
インピーダンス	50Ω	
VSWR	1.1以下	
ロス	0.2dB以下	
耐電力	30W PEP	200W PEP
直流放電開始電圧 500V/S 平均範囲内	90V±20%	230V±15%
衝撃波放電開始電圧 5kV/μS 上限値	1,000V	
最大衝撃波放電電流	5,000A	

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、必要ときに読めるようこの取扱説明書は大切に保管してください。

⚠ 警告

- ①雷がなり出したら、本器やケーブルには触れないでください。感電の原因になります。
- ②アンテナに落雷することがあります。お使いにならないときや、外出時には無線機からケーブルをはずし、軒下などの人に触れない屋外に出しておいてください。火災・感電の原因になります。
- ③不安定な場所、高所など足場の悪い場所に設置工事をしないでください。落ちたり、すべったりして、けがの原因となります。
- ④本器の部品や工具類を高い所から落とさないでください。けがの原因となります。
- ⑤設置や点検は、風雨、雷、雪などの天候の悪い日は、危険ですので作業をしないでください。落ちたり、滑ったりして、けがの原因となります。
- ⑥ガス管や水道管などにアースしないでください。火災や感電・けがの原因になります。

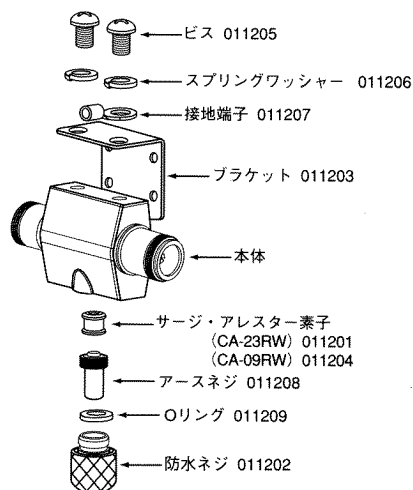
⚠ 注意

- ①電力保安用アースなどと共用しないでください。また、他のアース回路とはなるべく隔離する様にしてください。故障の原因になります。
- ②本器は、誘導雷や静電気などのサージ電圧に対しては非常に効果的ですが、直雷による数万アンペアの大電流に対しては効果ありません。直雷対策に対しては避雷針を設置してください。

■ 特長

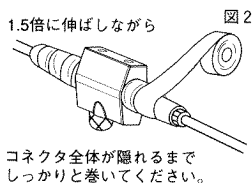
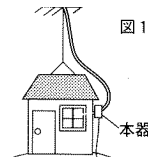
- ①本器には、一定電圧以上のサージ電圧が生じると、放電して接地するガス封入式のサージ・アレスタ素子を内蔵していますので、極めて安全性に優れています。
- ②サージ・アレスタは、一定電圧で放電、復帰を何回でも繰り返し動作しますので、交換の必要はほとんどありません。万一、このサージ・アレスタ素子が破損した場合は、容易に交換することができて経済的です。
- ③本器は同軸管構造ですので、高周波特性が良く、広帯域、低損失、低V. SWRです。
- ④この同軸避雷器は防雨設計です。そのため本体への防水処理の必要がありません。

■ 外観図 (パーツ名称)



■ 設置方法

- ①本器は同軸ケーブルを屋内に引き込む直前や、接地し易い場所に取り付けてください。(図1)
- ②接地端子に2.5φ~3.2φの銅線をかきしめ、または半田づけし、銅線の先端を大地に埋設した避雷用アースに接続してください。このとき本器と大地との接続距離はできるだけ短くしてください。
- ③本器に接続するコネクタの部分をテーピングしてください。自己融着テープを元の長さの約1.5倍に引き伸ばしながら巻き付けます。さらにその上にビニールテープでしっかりと固定してください。(図2)



☆ 避雷用のアースは次

の点に留意し、確実に行ってください。なお詳細はアースに関する専門書を参照いただくか、専門の工事業者にご相談ください。また弊社ホームページ (<http://www.diamond-ant.co.jp>) にもアースに関する情報が掲載されておりますのでご利用ください。

- ・接地抵抗値はできるだけ小さくしてください。
- ・銅板を大地に埋設するなどし、接地電極の表面積を広くして土壌との接触面積を大きくしてください。
- ・地上高の高いアンテナ・タワーなどをご使用の場合は、アンテナ・タワーやルーフタワーなどの基部をできるだけ太い線(断面積30mm²以上の銅線または50mm²以上のアルミ線)で接地すると共にタワー上のアンテナ直下に同軸避雷器を取り付け、避雷器のアースをタワーを通して接地するようにすると効果的な避雷対策となります。

■ 点検

サージ・アレスタ素子の点検および交換は、防水ネジ、アースネジの順に取り外し、アレスタ本体を傾けて取り出してください。また、取り付けは、指先で締めつけてください。特にアースネジは工具で締めないでください。サージ・アレスタ素子が破損する恐れがあります。

■ 仕様

形名	CA-09RW	CA-23RW
周波数範囲	DC~2500MHz	
インピーダンス	50Ω	
VSWR	1.1以下	
ロス	0.2dB以下	
耐電力	30W PEP	200W PEP
直流放電開始電圧 500V/S 平均範囲内	90V±20%	230V±15%
衝撃波放電開始電圧 5kV/μS 上限値	1,000V	
最大衝撃波放電電流 8/20μS ピーク値	5,000A	
反復放電寿命耐量10/1000μS 500A印加における平均寿命	500回以上	
絶縁抵抗	10,000MΩ以上	
コネクタ	NJ/NJ	
外形寸法(コネクタも含む最大寸法)	78W×55H×26Dmm	
重量	約150g	

本器の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。